2024 年度(令和 6 年度)　三重県立高校後期選抜　分析と評価

eisu 教科分析チームの責任で作成された、各教科及び 5 教科全体に対する分析と評価です。入試問題の研究・学習の参考資料になるよう作成されました。叙述の客観性を保証するものではありませんので、ご理解ください。(2024 年 3 月 11 日作成)

国語

難易度

■やや易

■大問の難易度　[1]例年並　[2]やや易　[3]やや易　[4]例年並　[5]例年並

eisu 国語科チームによる分析と評価

例年通り大問 5 問構成。文法では基本的な内容が出題されているため、日頃の学習を丁寧に行い必要事項はきちんと暗記する必要がある。説明的文章と文学的文章においては、設問意図を理解し、適切な箇所を本文から見つけて簡潔にまとめさえすれば正解に導くことは容易であった。古典は大学入学共通テストを意識した出題で、古文と漢文をしっかりと読み比べて内容を理解する必要があった。作文は資料の読み取りと合わせる形で定着。新たに敬語の知識を問う問題が出題された。やや易化と評価したが、それだけに難関校を狙う受験生は学習上の抜け漏れが許されない。

数学

難易度

■例年並

■大問の難易度　[1]例年並　[2]例年並　[3]例年並　[4]やや難　[5]例年並　[6]例年並[7]例年並

eisu 数学科チームによる分析と評価

昨年度は問題の構成が大きく変わったが、今年度は昨年度の形式を踏襲する形での出題であった。内容や難易度についても昨年度と同様で、時間配分に気を付けながら、基本的な問題を落とすことなく解ききることができれば、練習通りの実力が発揮できただろう。また近年の傾向として、様々な条件を整理し検証することで答えを導く、思考力を必要とする問題が目立つ。今後の対策としては、過去の入試問題やその類題を繰り返し演習しておくことが大切だ。関数・図形などの高難易度の問題も、解法がパターン化されたものが多い。系統的な受験対策をしていれば、「見たことがある！」という問題を増やせるはずだ。

社会

難易度

■やや易

■大問の難易度　[1]やや易　[2]やや難　[3]やや難　[4]例年並　[5]やや易

eisu 社会科チームによる分析と評価

地理は幅広い地域から、歴史はほぼ各時代から出題されていた。いっぽう公民は国会・内閣・裁判所からの出題がなかった。全体的に単なる知識の暗記だけでなく、思考力・判断力を必要とする問題も多かった。記述式は昨年度より 2 問減り 6 問となったが、複数の資料を用いる問題もあったので、文章表現力が必要とされ、少し難しく感じた受験生もいるだろう。ただし定番の問題も多く見られ、数多く問題にあたっていれば、既視感のあるものもあったはずである。昨年より公民が易化したので、全体的にはやや易化しており得点しやすかったと思われる。

英語	難易度
	■やや難 ■大問の難易度　[1]やや難　[2]例年並　[3]例年並　[4]やや難
	eisu 英語科チームによる分析と評価
	他府県と比べてリスニングの配点が極めて高く、50 点中 18 点を占める。また、昨年度の入試から、リスニングの小問 4 問のうち、3 問の放送回数が 1 回となったため、難易度が上がっている。昨年度と同様、対話文や長文における選択問題では、各選択肢の情報量が多く、短時間で正確に本文と照らし合わせながら、解答を導く判断力が問われた。多量の情報を高速に処理するという点では、近年の傾向に沿った出題である。

理科	難易度
	■例年並 ■大問の難易度 [1]例年並　[2]やや難　[3]やや難　[4]やや易　[5]例年並　[6]例年並　[7]やや難　[8]やや難
	eisu 理科科チームによる分析と評価
	大問 8 題の構成。生物・地学・物理・化学の 4 分野から均等に出題されている。各大問の文章量は非常に多く、公式の暗記だけでは解けず、思考力を試される計算問題もあり、時間内に解くのに苦労した受験生も多いはずだ。教科書で紹介されている実験・観察をもとに、問題文や表・グラフから情報を正しく読み取り、考えさせる問題が多い。しかし、過去問題との類題も多く見られたので、3 年間しっかり学習に取り組んできた受験生には解きがいがあっただろう。以上、ところどころ難問が散在するが、全体の平均点は例年並に収まるだろうと予想される。

全体	eisu 教科部チームによる分析と評価
	三重県立高校入試は、全体としては決して難度が高いわけではないからこそ、かえって取りこぼしが許されない、プレッシャーのかかる試験だと言える。そして、ところどころ難問が混じっているので、進学校狙いの受験生にとっては、そこが差がつくポイントになっている。 ただ、難問と言っても、過去に出題されたものと類似するなど、パターン化された問題が多いのも事実。日頃から実戦的な訓練を積み重ね、覚えることはしっかり覚えて、スキのない学力を身につけることが大切だ。系統的で、継続的な受験勉強こそ、入試に勝つための必須条件である。

注意：このデータを紙などに印刷したり、それを配布したりする行為はご遠慮ください。